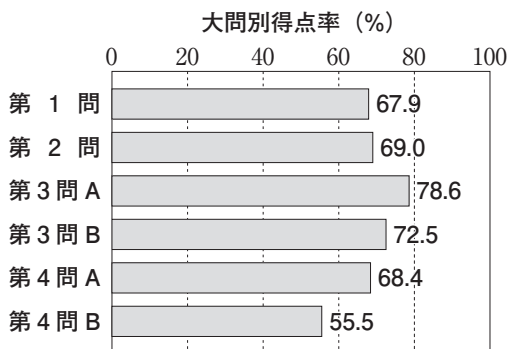
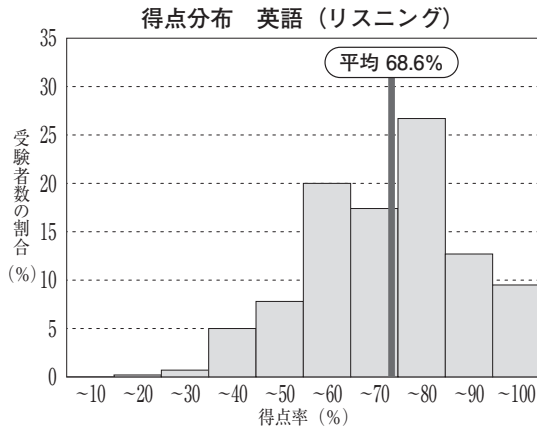


# 英語 (リスニング)

## 本番に向けて最後までトレーニングを続けよう！

### I. 全体講評

今回の受験学年の平均点は34.3点で、得点率にして約69%という結果だった。受験本番を直前に控え、かなりの好成績を残せたことは喜ばしいことである。筆記テスト同様に、残された時間を最大限に活用し、この調子を維持してほしい。今回の大問別得点率を見ると、第4問Bが50%台半ばだったほかは、いずれも60%台後半から70%台後半の範囲内にあり、高いレベルで安定していたことがわかる。小問レベルで見ても、正答率が50%に満たなかったのはわずか3問である。第4問Bは全問題の最後に設けられた難しいパートではあるが、何とか最後まで集中して乗り切ってもらいたい。ここで好成績を収めれば大きな差をつけることにもなるだろう。残りわずかな期間といえども、筆記問題対策



と同様に耳のトレーニングも怠りなく続けてほしい。

### II. 大問別分析

#### 第1問 対話の聞き取り (語句・イラスト選択)

##### 意外な難しさが潜んでいた！

第1問の今回の得点率は67.9%と全体的にはまずまずの成績であった。しかし、小問別正答率を見ると、20%台から90%台と大きなばらつきがあった。80%台が3問あった一方で、全問を通して正答率が50%未満だった3問のうち2問がここに含まれていた。その1つが問3、もう1つは問4である。問3は基本的な内容一致問題であるが、食べ過ぎたという男性の体調に関して、「満腹の」を意味するfullを使った正解①では選びにくかったのかもしれない。半数以上の人々が②「寒がっている」を選んだが、まったく文脈をつかめていなかったことになる。問4はこの大問に特徴的な数の聞き取りを含む問題だが、通例なら計算を求められるところ、ここでは単純に個数を答えるようになっていた。ところが、意外にやりとりが複雑なためにトリッキーな設問となったようだ。

#### 第2問 対話の聞き取り (応答文選択)

##### 本文の流れに沿った応答を選ぼう！

第2問の得点率は69.0%とかなり良い成績であった。小問別の正答率を見ても、50%台から80%台までの間でバランス良く得点できていた。取り立てて言うほどではないが、最も正答率が低かった問12では、寒気を感じている女性の体調が話題になっている。そこで、何か温かい食べ物を買に行きたいという女性に対し、男性の発言として①「まずは休息すべきだ」が選ばれるわけだが、正解者は半数を少し超えただけだった。他の選択肢では対話が成り立たないはずなので、間違えた人は見直してほしい。

**第3問 A 対話の聞き取り (質問文に答える)****全体的に高いレベルで安定していた！**

今回の**第3問 A**の得点率は78.6%で、すべての大問の中で最高の成績だった。小問別の正答率を見ると、70%に届かなかったものが1問あったが、他の2問は80%を超え、高いレベルで安定していたことがわかる。この大問は対話文を完成させる**第2問**とは異なり、完結した対話文に基づく内容一致問題である。この箇所ですべて安定した成績を残すには、話の要点や全体的な流れを的確につかんでいることが不可欠である。その意味では受験生諸君の学力が着実に向上してきたことをうかがわせる結果と言えるだろう。

**第3問 B 長めの対話の聞き取り****取りこぼしをなくし、さらに上を目指そう！**

**第3問 B**の得点率は72.5%で、**第3問 A**に次いでよくできていた。小問別には、正答率にして50%台後半から80%台半ばというところであった。この結果を見る限り、特に大きな反省点はないが、一般論として、ここでは対話文の聞き取りに加え、図を見ながらの解答を求められるので、少しでも集中力を欠くと思わぬ取りこぼしにつながりかねない。また、**第3問 A**とは異なり、1つの長い会話文に基づいていて、それを聞きながら3問を処理するのは、やはり違った難しさがある。本文が長くなれば、それを耳で受け止めて理解する速さも違ったレベルが求められるからだ。間違えた箇所があれば、どこに原因があったかをよく考え、メモの取り方に工夫の余地はないか検討してもいいだろう。

**第4問 A 長めの文章の聞き取り****さらにトレーニングを重ね、準備を整えよう！**

今回の**第4問 A**の得点率は68.4%で、ほぼ全体の平均値に一致していた。小問の正答率も60%台から70%台とバランス良く得点できていたので、特筆すべき問題点は見当たらない。リスニング問題では後半徐々にハードルが高くなる。ここは1人の話者による長めの本文を聞き、3つの内容一致問題に答える箇所であるが、聞き取る分量が多い上に、内容面もより複雑である。これに対処するのに、にわか仕込みの対策では通用しない。設問に関して言えば、内容一致問題の性格上、本文と選択肢では同じ表現を避けるのがふつうであるから、やはり類似

問題にどれだけ慣れていけるかが問われることになるだろう。不安を感じる人は多いであろうが、本番までの短い期間であっても、常に英語の音声に耳を傾けるとともに、過去問を見直しておくことをすすめる。

**第4問 B 長めの会話の聞き取り****過去問を見直し、本番に備えよう！**

今回の**第4問 B**の得点率は55.5%で、すべての大問の中で最も低かった。**問24**の正答率が30%弱に終わったのが大きく響いてしまったわけだが、全体として見れば悲観するほどではないだろう。**問24**では、Johnの発言内容を比較的素直に問うているので、この結果はやや意外であった。正解者とはほぼ同数の人が①「自分がパレードの資金を十分に持っているかどうか」を選んでしたが、文中ですべされた資金の問題は個人的な問題ではないので、適当ではない。間違えた人は本文と選択肢を再度照合してみよう。現行のセンター試験リスニング問題では、2人もしくはそれ以上の対話や会話に重点を置くようになっている。本模試を含めて過去問を見直し、本番に備えてもらいたい。

**Ⅲ. 学習アドバイス**

センター試験本番レベル模試のリスニング問題は、2016年度を含め、これまで継続してきたセンター試験の内容に沿っている。2017年度センター試験でも、これに近い形式・内容の問題が出題されると予想される。本模試を毎回受験してきた人は、設問形式に対する習熟度が相当に高まっているであろう。

入試直前期ではあるが、リスニングが苦手な人は、1日に5分でも10分でもよいから、毎日英語を聞いて耳を慣らしてもらいたい。そして、耳の感覚をそのまま研ぎ澄ました状態で本番に臨んでもらいたい。

最も大切なのは、「集中して聞く」ということだ。他の勉強をしながらBGM代わりに英語を流しても効果はない。単語や熟語の暗記と同様に、最後の1日まで努力を続けることによって、少しでも力をアップさせてセンター試験当日を迎えるようにしよう。